

《自己紹介》

平成28年卒の白石です。

今回は高校大学と共に剣道をしてきた松下征志郎からバトンを引き継ぎこのような機会をいただけて本当に嬉しく思います。

私は福島県いわき市の出身で父の影響で剣道をはじめました。物心つく頃には竹刀を握っていました。白石家に4兄弟の3番目で生まれ、特に2歳上の兄（白石開）とは小学校から高校まで同じチームで数多くの大会に出させてもらいました。私の幼少の頃の夢は兄と2人で日本一になることでした。高校は神奈川の桐蔭学園高校に進み、立教大学にはアスリート選抜入試で入学させていただきました。

当時男子で桐蔭学園から立教大学に入部させていただいたのは私が初めてだったように思います。それから村上弘樹（平成29年卒）、松下征志郎、高尾太雅（平成30年卒）といった後輩たちをはじめ男女合わせて多くの後輩たちが立教大学剣道部に入部し活躍してくれています。

大学4年間を振り返ると、とても長くなってしまいそうなので、最後に同期の写真と合わせて振り返りしたいと思います。当時監督をしてくださいました土屋監督、石川総監督、榎本先輩をはじめ、立教大学剣道部でかけがえのない仲間と出会い素晴らしい諸先輩方に支えられ充実した4年間を過ごさせていただきました。

《大学卒業後（原先生との2年間）～現在》

『どうしても原義克先生の元で修行したい！』と思い、2年間立教新座中学高校の講師として原先生の元で学ばせていただきました。私が原先生の1番弟子であると思っています。（自称です笑）立教大学で尊敬する原先生と出会い、「こんなにも強く、かっこいい先生がいるのか」と大きな衝撃を受けました。その出会いは今でも心に残っており、ずっと私にとって1番の憧れの先生です。2年間立教新座のコーチとして、「原先生を優勝監督にしたい！」その一心でサポートさせていただきました。私がコーチをしていた2年間、2年連続夏のインターハイに出場（中嶋将太、渡部勇二郎）、春の全国選抜にキャプテン小泉真人（愛知県出身）たちと一緒に全国の夢舞台まで行けたことは今でも私の大切な宝物です。

現在はさいたま市の美園南中学校で中学3年生の担任と剣道部の顧問として充実した日々を送っています。地域クラブの一環として、現在は父と（毎週末福島から埼玉に）二人三脚で剣道部の指導にあたっています。先日の埼玉県の新人戦では、女子剣道部が第5位に入賞することができました。初心者チームですが、夏の関東、全国に向けて変わらず剣道中心の毎日を送っています。立教新座からさいたま市の中学校体育科教員となってから、教え子が1名立教新座高校へ進学（佐藤秀、現在2年生）し、原先生の元で頑張ってくれているのも嬉しいです。また千葉県の木更津総合高校で剣道部監督を務めている飯田剛史先輩（平成27年卒）の元にも1名（早川双逢、現在2年生）が尊敬する大好きな先輩の元で頑張ってくれています。剛史さん！早く飲みに連れて行ってくださいね。連絡待ってます(^^)



«立教大学剣道部史上1番仲が良い自慢の同期です»

大げさなタイトルなんかではなく、きっと同期のみんなも同じように思っていると思います。大学剣道部の同期は一生の仲間。このメンバーに出会えたこと自体が最高の財産です。ゆうと（現立教大学剣道部監督）、まーちゃん（相模×桐蔭）、めいちゃん（元気してる？）、こうき（建武堂いつもお世話になります）、ひろ（いつこっち来れんの？笑）あんな（チーム福島）、ゆうき（剣道しましょう）、まみ（同じ埼玉県民）、ゆみ（調子どう？）同期9人が大好きです。これからもよろしく。また近いうち会いましょう。最後に同期たちとの写真をどうぞ！（みんなとの写真いっぱいありすぎて適当に選びました笑）

卒業旅行 in ハワイ



同期全員で富士急！



アフター5でディズニー

